

平成27年度 自己評価結果報告書

学校法人 原幼稚園

当園ではこの度、平成27年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園では、子どもたちに様々な分野で、“本物”に触れられる環境を提供し、一人ひとりが持って生まれた個性と感受性をのびのびと伸ばす教育に取り組んでいます。

- ① 豊かな感性と創造性そして広がりのある思考力を養う
- ② 子ども一人ひとりの自主性と主体性を伸ばす
- ③ 多様化する社会に適応する逞しい心と体をつくる。

II. 今年度の重点目標

- 教育課程・カリキュラムの編成
- 行事計画の立案、評価・見直し活動の充実
- 教職員間の情報共有・連携の充実
- 園内研修の充実
- 安全管理体制の強化
- スマイル活動の充実

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	取組み状況・成果
1	教育カリキュラムの見直し・充実	年間カリキュラムの見直し・充実化をすすめ、その内容を月案・週案に展開することでさらなる教育活動の向上を目指すとともに、原幼稚園の保育に対する意識や取組の共通理解をはかる。	年間カリキュラムを作成し、月案・週案へ展開して各学年・クラスで保育に取り組む事ができた。 学年によって保育の差やバラつきが生じているため、各学年や職員間で原幼稚園の保育に対する意識や取組の共通理解を深めていく。
2	行事計画の立案、評価・見直し活動の充実	行事後の評価・反省を計画的に実施し、改善点等を明確にして記録に残す。また、行事計画の際には前回の反省による改善点を反映させ、ねらいを明確にしてより良い行事内容となるよう意識して取り組む。	行事ノートを使いやすく変更し、前回の反省も反映させるようにした。行事後必ず反省を行うことで、次回の行事への改善に活かせる仕組みができた。 観劇会座席表、バス配車、当該行事にかかるプリントや写真などの付属資料も一緒にファイリングする等、記録の充実化を図っていく。
3	教職員間の情報共有・連携の充実	月1回開催している学年主任会議では議題・検討テーマを明確にした上で、定期的を開催することで、より充実した話し合いの場となるよう意識して取り組む。また、検討結果は議事録を作成し教職員間の情報共有化を図り、重要事項については職員会議で報告するなど、全教職員での情報共有化を徹底する。	前半は各学年の保育や学年を超えた活動について話し合う機会を設けることができたが、後半は頻度が減ってしまった。 議題や検討テーマを明確にし、会議内容が充実したものになるように意識する事が必要となる。また、職員会議に全職員が出席できないため、終礼ノートを活用して情報を正確に共有していく。

平成27年度 自己評価結果報告書

学校法人 原幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況・成果
4	園内研修の充実	1年間の研修課題を明確に設定したうえで、計画的な園内研修を実施し保育スキルの向上を図る。	夏休みに園内研修を行い、各自が学んだ事を発表し合い、職員が相互に知識を高める事ができた。しかし、研修課題を決めず実施したため内容が薄くなってしまった。
5	安全管理体制の充実	火災や地震、不審者侵入など、様々な場面を想定した避難訓練について抜き打ち訓練の実施を検討し、年間計画を立てて計画的に実施していく。また、訓練実施後には対応手順や避難経路等の評価・反省を行い、今後の防災体制の強化につなげていく。	月に1回程度、様々な場面を想定して避難訓練を行った。公民館活動にも参加し、安全意識を高めることができた。また、反省を基に訓練内容を見なおすことができた。今後は近隣の場所を借りて避難訓練を行い、多様な場面を想定し、対応ができるように訓練内容を強化していく。
6	スマイル活動の充実	スマイル活動、園庭開放の活動内容の充実に取り組むとともに、開催案内を積極的に行うことで、多くの方にご参加いただき園の良さを知って頂き、更なる子育て支援の充実を図る。	月1回、スマイル活動と園庭開放を行い、子育て中の保護者の交流の場を提供することができた。スマイルでは持ち帰り用の折り紙が好評で、ちゅうりっぷ組入会への入り口となった。今後、更に子育て支援の内容を検討し、充実させていく。

IV. 今後取り組むべき課題

重点課題		取組み内容
1	教育カリキュラムの見直し・充実	年間カリキュラムの見直し・充実化をすすめ、その内容を月案・週案に展開することでさらなる教育活動の向上を目指すとともに、原幼稚園の保育に対する意識や取組の共通理解をはかる。
2	教職員間の情報共有・連携の充実	月1回開催している学年主任会議では議題・検討テーマを明確にした上で、定期的を開催することで、より充実した話し合いの場となるよう意識して取り組む。また、検討結果は議事録を作成し教職員間の情報共有化を図り、重要事項については職員会議で報告するなど、全教職員での情報共有化を徹底する。
3	園内研修の充実	1年間の研修課題を明確に設定したうえで、計画的な園内研修を実施し保育スキルの向上を図る。
4	安全管理体制の充実	火災や地震、不審者侵入など、様々な場面を想定した避難訓練について抜き打ち訓練の実施を検討し、年間計画を立てて計画的に実施していく。また、訓練実施後には対応手順や避難経路等の評価・反省を行い、今後の防災体制の強化につなげていく。
5	スマイル活動の充実	スマイル活動、園庭開放の活動内容の充実に取り組むとともに、開催案内を積極的に行うことで、多くの方にご参加いただき園の良さを知って頂き、更なる子育て支援の充実を図る。
6	業務の効率化	終業後の残業を削減し、体調管理や自己啓発を促す。無駄な作業の削減や仕事の効率化、過度に手のかかる制作物等の簡素化を図る。

以上